



国策の提案

令和6年8月20日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

為政は唯一誠実に国策を求め、それを行うことである。真実における国民との対話は、唯一未来の共有を提案できるのである。

先端性はその底辺からの積み重ねであり、先人の遺産を未来へ受け継ぐものである。

世界との融和は、対立から新しい未来の提案を実現できるものである。

政治の責任は未来の子供達はその国家を受け継ぐことであり、正しい社会の育成はより優れた未来を実現するものである。

希望という唯一の選択は政治と官僚の努力における未来なのである。

政治の志は、世界との新しい協力を求め、その未来の構築という責任への行動を共有するのである。

一切の困難へ、自己の従属でないその英断と行動は、唯一未来の実現を可能とできるのである。

これらは自らの信念と真実を世界へ語り求めることで道を得ることは必ず存在するのである。

政治は国民の目を見るとき、自己の行動の結果を知るのである。

対立から融和への新しい未来への協力は一人から、全ての人々への拡大できるのである。

これらは新しい理念とともに国家が未来を模索できることなのである。権力から、新しい人々の希望という選択への転換は、未来を変えるものなのである。

す全ての国家との対話は、決して眼を下に落とさず、真剣に対等な自己を行うことで、世界における新しい現実を求めることができるのである。